



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社中央製作所 上場取引所 名
コード番号 6846 URL <https://www.chuo-seisakusho.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 後藤 邦之
問合せ先責任者（役職名） 総務部長（氏名） 服部 光生 TEL 052-821-6166
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,039	12.4	30	597.0	34	250.1	23	158.6
2026年3月期第1四半期	924	△7.8	4	△87.1	9	△75.9	8	△64.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	29.98	—
2026年3月期第1四半期	11.59	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,229	2,612	50.0
2026年3月期	5,293	2,549	48.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 2,612百万円 2026年3月期 2,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	55.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2027年3月期（予想） 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 創立90周年記念配当20円00銭

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,150	18.9	70	890.6	70	539.5	110	128.3	142.38
通期	4,000	△0.4	100	△23.5	100	△27.5	135	△32.9	174.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	784,300株	2026年3月期	784,300株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	11,701株	2026年3月期	11,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	772,599株	2026年3月期1Q	772,697株

※添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、中東情勢の不透明さや原材料価格の高騰、更には円安の進行による物価上昇などの影響により減速傾向が強まる中、人工知能(AI)関連の需要が経済指数を下支えしている状況が続いていました。

このような経済状況の中で、当社は積極的な営業展開を行うとともに部材や購入品などのコストアップ要因を適切に価格に反映させる取組みを推進してまいりました。また、社内における部材調達および工程進捗管理を密に行ってまいりました。その結果、当第1四半期累計期間の受注高は1,512百万円(前年同期比118.5%増)、売上高は1,039百万円(前年同期比12.4%増)となりました。損益については、営業利益30百万円(前年同期比597.0%増)、経常利益34百万円(前年同期比250.1%増)、四半期純利益23百万円(前年同期比158.6%増)となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、電池業界、電子部品業界及び自動車関連業界などを中心に、様々なニーズにお応えすることで受注確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は790百万円(前年同期比145.4%増)となりましたが、売上高は286百万円(前年同期比42.6%減)となりました。

今後につきましては、カーボンニュートラルの実現に寄与するインバータ方式の電源や小型電源の更なる改良を進めるとともに、汎用型電源の拡販に力を入れ、受注・売上の確保に努めてまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、半導体関連業界などを中心に、新規・更新需要及び既存装置の改修需要にお応えすることに注力してまいりました。その結果、受注高は295百万円(前年同期比49.1%増)、売上高は554百万円(前年同期比175.1%増)となりました。

今後につきましては、引続き新規案件の受注確保及びIoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M(当社製品名)の提案や既存装置の改修の掘り起こしに注力して受注・売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、自動車関連業界を中心に新規及び更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。その結果、受注高は204百万円(前年同期比71.5%増)、売上高は172百万円(前年同期比35.7%増)となりました。

今後につきましては、新型コンデンサ式溶接機の市場投入及び拡販を中心に、更なる受注・売上の確保に努めてまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて4.1%減少し3,444百万円となりました。これは、主として現金及び預金が196百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が325百万円、電子記録債権が61百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて5.0%増加し1,784百万円となりました。これは、主として投資その他資産が100百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1.2%減少し5,229百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて7.4%減少し2,002百万円となりました。これは、主として短期借入金が100百万円、支払手形及び買掛金が54百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて5.5%増加し614百万円となりました。これは、主としてその他に含まれる繰延税金負債が43百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて4.6%減少し2,617百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて2.5%増加し2,612百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日に公表いたしました業績予想値に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,901	1,151,421
受取手形及び売掛金	725,324	400,048
電子記録債権	527,070	465,640
商品及び製品	100,292	75,651
仕掛品	937,010	972,781
原材料及び貯蔵品	129,105	158,986
前渡金	133,000	116,000
その他	88,705	105,461
貸倒引当金	△1,900	△1,400
流動資産合計	3,593,510	3,444,590
固定資産		
有形固定資産	940,350	924,944
無形固定資産	9,544	8,683
投資その他の資産		
その他	751,043	851,972
貸倒引当金	△687	△687
投資その他の資産合計	750,356	851,285
固定資産合計	1,700,251	1,784,913
資産合計	5,293,761	5,229,503
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	229,385	174,895
電子記録債務	187,836	173,417
短期借入金	840,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	37,504	37,504
未払法人税等	-	4,694
契約負債	551,636	558,533
製品保証引当金	32,850	18,554
その他	282,574	294,892
流動負債合計	2,161,787	2,002,491
固定負債		
長期借入金	243,744	234,368
退職給付引当金	196,831	194,889
資産除去債務	2,298	2,298
その他	139,729	183,057
固定負債合計	582,603	614,613
負債合計	2,744,390	2,617,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,645,255	1,637,517
自己株式	△17,198	△17,198
株主資本合計	2,356,642	2,348,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	192,728	263,494
評価・換算差額等合計	192,728	263,494
純資産合計	2,549,370	2,612,398
負債純資産合計	5,293,761	5,229,503

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	924,550	1,039,114
売上原価	674,169	771,090
売上総利益	250,381	268,024
販売費及び一般管理費	245,957	237,185
営業利益	4,424	30,838
営業外収益		
受取配当金	6,493	7,640
スクラップ売却益	1,193	523
その他	164	207
営業外収益合計	7,850	8,371
営業外費用		
支払利息	2,441	4,785
その他	0	-
営業外費用合計	2,442	4,785
経常利益	9,832	34,423
特別損失		
固定資産除却損	42	0
特別損失合計	42	0
税引前四半期純利益	9,790	34,423
法人税、住民税及び事業税	469	469
法人税等調整額	361	10,788
法人税等合計	831	11,258
四半期純利益	8,959	23,165

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損 益計算書 計上額 (注3)
	電源機器	表面処理 装置	電気溶接機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	499,624	201,672	127,350	828,648	95,902	924,550	—	924,550
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	499,624	201,672	127,350	828,648	95,902	924,550	—	924,550
セグメント利益	124,221	60,497	24,948	209,666	34,099	243,766	△239,342	4,424

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験装置、計測器等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△239,342千円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損 益計算書 計上額 (注3)
	電源機器	表面処理 装置	電気溶接機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	286,666	554,835	172,821	1,014,323	24,791	1,039,114	—	1,039,114
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	286,666	554,835	172,821	1,014,323	24,791	1,039,114	—	1,039,114
セグメント利益	26,424	205,133	26,825	258,384	8,068	266,452	△235,614	30,838

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験装置、計測器等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△235,614千円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュフロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	16,088千円	16,507千円

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	392,562	30.1
表面処理装置	513,984	75.0
電気溶接機	86,288	△46.5
その他	38,608	△51.8
合計	1,031,444	23.3

(注) 金額は、販売価格によっております。

②受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	790,317	145.4	1,317,104	96.5
表面処理装置	295,628	49.1	1,428,222	10.2
電気溶接機	204,158	71.5	341,800	85.2
その他	222,321	319.5	449,866	134.5
合計	1,512,424	118.5	3,536,993	50.9

③販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	286,666	△42.6
表面処理装置	554,835	175.1
電気溶接機	172,821	35.7
その他	24,791	△74.1
合計	1,039,114	12.4